

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 24 日 (2014.4.24)

【公表番号】特表 2014-501461 (P2014-501461A)

【公表日】平成 26 年 1 月 20 日 (2014.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2014-003

【出願番号】特願 2013-543577 (P2013-543577)

【国際特許分類】

H 0 1 P 1/203 (2006.01)

H 0 3 H 11/04 (2006.01)

H 0 3 H 11/48 (2006.01)

【F I】

H 0 1 P 1/203

H 0 3 H 11/04 J

H 0 3 H 11/48 B

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 3 月 10 日 (2014.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

負荷インピーダンスを用いたアクティブ停止帯域フィルタであって、
送信線により接続されたフィルタ入力及びフィルタ出力と、前記送信線に結合されて線
の部分により構成された共振子とを有し、
前記線の一部は、接地に接続された片端と、負荷インピーダンスに接続可能な他端とを
有し、

前記共振子と前記負荷インピーダンスとの間に、選択された動作帯域でフィルタリング機能をアクティブ化する手段を有するアクティブ停止帯域フィルタ。

【請求項 2】

前記フィルタリング機能をアクティブ化する手段は、前記共振子の片端と前記負荷インピーダンスとの間に位置するスイッチにより実現される、請求項 1 に記載の停止帯域フィルタ。

【請求項 3】

前記負荷インピーダンスは、コンデンサ、バラクタダイオード又はアクティブコンデンサを模擬する負抵抗回路の中から選択される、請求項 1 に記載の停止帯域フィルタ。

【請求項 4】

前記負荷インピーダンスがパッシブコンデンサである場合、前記フィルタリング機能をアクティブ化する手段は、前記共振子の片端と前記パッシブコンデンサとの間に位置する PIN ダイオードにより実現される、請求項 1 に記載の停止帯域フィルタ。

【請求項 5】

前記負荷インピーダンスがアクティブコンデンサである場合、前記フィルタリング機能をアクティブ化する手段は、前記アクティブコンデンサを実現可能にするトランジスタの供給電圧により実現される、請求項 1 に記載の停止帯域フィルタ。